

ふるさと納税便りvol.3

ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)をいただいた皆様へ

涼秋の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様には、寄附金として本市に対して大変温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

このたび、「ふるさと納税便りvol.3」を発行いたしましたので、皆様にお届けいたします。

ふるさと納税便りは、皆様から頂戴した貴重な寄附金を、どのように活用させていただいたのか、その内容について皆様にお知らせするものです。

今回お届けしているvol.3においては、平成22年1月～12月に頂戴した寄附金を活用し、平成23年度に実施した事業内容について掲載しております。

また、平成23年1月～12月に頂戴した寄附金は、平成24年度の事業において大切に活用させていただいており、その内容については、当該期間に寄附を頂いた方へ来年お届けする予定のvol.4においてご紹介させていただきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

◎トピックス

寄附メニューを追加しました。

『三重津海軍所跡』を世界遺産に。

佐賀市では、川副町・諸富町にまたがる三重津海軍所跡(現:佐野歴史公園)の世界遺産登録に取り組んでいます。

この取り組みを広くお知らせするとともに、その広報活動費用の支援をお願いするため、ふるさと納税の寄附メニューとして新たに設定しました。

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。



ふるさと応援寄附金 H23年度の使いみちについてのご報告

平成22年1月～平成22年12月までに頂戴した寄附金2,586千円、平成23年中に頂戴した寄附金のうち早期の活用を要した520千円については、下表のとおり、平成23年度実施事業において活用させていただきました。

また、「市長おまかせコース」を選択されて使途指定がなかったものについては他の3つの寄附メニューに振り分けて、使途指定をいただいたものについてはご指定内容をもとに活用させていただいております。

次のページからは、使いみちについて、詳しくご報告させていただきます。

メニュー項目	H22.1～H22.12 寄附金合計	H23年度事業 活用額（決算）	備考
(1) 晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」	197,000円	197,000円	
(2) 市立図書館での生涯学習のお手伝い (図書の充実)	27,000円	109,000円	
(3) 多布施川のサクラ並木の保全	417,000円	417,000円	
(4) さあ！大人の出番です。 「こどもへのまなざし運動」	72,000円	109,000円	
(5) 魅力ある地域文化保存継承への支援	34,000円	109,000円	
(6) 市長おまかせコース（指定なし）	194,000円	—	(1) から (5) へ振り分け
市長おまかせコース (指定：大隈記念事業)	1,000円	0円	積立てを行い、後 年度に活用
市長おまかせコース (指定：川副桜ロードの維持管理)	1,630,000円	650,000円	多額の寄附により、 数年に分けて活用
市長おまかせコース (指定：定住促進)	14,000円	14,000円	
市長おまかせコース (指定：震災避難者支援)	500,000円	500,000円	(H23寄附)
市長おまかせコース (指定：鷹の羽記念植樹等関連事業)	20,000円	20,000円	(H23寄附)
合 計	3,106,000円	2,125,000円	

ご寄附の活用状況

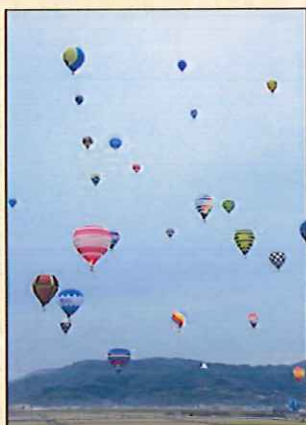
1. 晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」

平成23年11月2日(水)から11月6日(日)まで、アジア最大の熱気球イベント「2011佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」が嘉瀬川河川敷をメイン会場として、佐賀平野一帯で開催されました。

本大会では、14カ国・地域から98機のバルーンが参加して熱戦が繰り広げられ、雨による競技の中止などがありましたが、5日間で64万人のお客様にご来場いただくことができました。

また、平成24年1月29日(日)、昨年に引き続き「環境にやさしい取り組み」として、バルーン会場に車などでご来場いただくお客様や、バルーン大会の競技で使用するプロパンガスなどから排出される二酸化炭素を削減し、地球温暖化の防止に貢献することを目的に、バルーンパイロットなどにより、桜の木200本の植樹を実施しました。この植樹は、佐賀の上空に浮かぶバルーンと子どもたちの笑顔がずっと続くことを願い、今後も継続して実施を予定しています。

頂いた寄附金は、バルーン広報パンフレットの作成費用や環境対策としての植樹費用の一部に活用させていただきました。



舞い上がるバルーン



植樹の様子

2. 市立図書館での生涯学習のお手伝い

佐賀市立図書館では、「市民と共に育つ図書館」を基本理念として、市民の教養、文化の向上、教育、調査研究、趣味、娯楽レクリエーション等に資する資料を収集しています。

そのような中で、ふるさと納税制度によりご寄附いただきました財源で児童図書などを購入させていただきました。児童図書は子どもたちに、思いやりや、やさしさの心、勇敢な心、そして大切な想像力を育てます。

佐賀市の将来を担う子どもたちの人間形成の中でとても重要な役割を担っています。

ご寄附の活用状況

3. 多布施川のサクラ並木の保全

多布施川河畔公園は、佐賀市中央部を流れる多布施川沿いの公園で、約6キロにおよび約3,000本のサクラが植樹されています。春にサクラの花が川面に写りこむ景観は、多くの市民の財産であり、佐賀を離れられた方々のよき思い出の風景でもあります。

しかし、枯れたり倒れてしまったものが多く見受けられるようになっていることから、佐賀市でも、苗木等を補植して次世代へつなぐ「桜の再生計画」を行おうとしているところです。

今回、ふるさと納税制度による寄附金により、21本のサクラを新たに植樹することができました。今後も、すばらしい多布施川サクラ並木の景観の保全、佐賀のよき風景を守っていくよう努力していきますので、引き続きご支援をお願いします。

植栽後の写真(多布施川河畔公園にて)



満開時の様子



4. さあ！大人の出番です。「こどもへのまなざし運動」

佐賀市のすべての大人が、子どもの育成に関心を持ち、かつ主体的にかかわる社会『子どもへのまなざし“100%”のまち』の実現を目指し、市民総参加で子どもを育む市民運動『子どもへのまなざし運動』がスタートし、4年を経過しました。

ふるさと納税によっていただいた寄附金は、「子どもへのまなざし運動」の活動に活用していただくために、地域支援物品(まなざしベスト)を購入しました。

地域の各種団体や企業では、子どもの安全を見守る「子どもお守り隊」活動時や、夏まつり冬まつりなどの地域行事、または校区民体育大会のボランティアスタッフのユニフォームとして、子どもから大人まで「まなざしベスト」を着用していただいています。



朝や夕方の登下校時に通学路や交差点で児童、生徒の安全を見守る「子どもお守り隊活動」
(兵庫校区 まなざし子どもお守り隊)

ご寄附の活用状況

5. 魅力ある地域文化保存継承への支援

佐賀市には、地域住民によって地域固有の生活文化や歴史・文化が、引き継がれています。

例えば、祭りの時に奉納される「浮立や舞などの伝統芸能」は佐賀の代表的な行事の1つですが、次世代に保存・継承するためには、祭りで使用する道具類の新規購入や修繕に要する費用がかかり、地域住民にとっては負担が大きいとも言われています。

このような地域文化を保存・継承する事業に対する市補助金の一部として、「ふるさと応援寄附金」を活用させていただきました。

6. 市長おまかせコース(指定)

●川副桜ロードの維持管理

有明佐賀空港の北側に桜の隠れ名所『さくらロード』があります。さくらロードは延長1.7km、その両側には400本以上の桜が彩り、満開時の景色は、まるでピンクの滑走路を連想させます。

佐賀の玄関口として多くの方が訪れる場になってきていますが、枝が車と接触する恐れがあったため、ふるさと納税による寄附金により、高所の剪定を行うことができました。

川副桜ロードの様子



●定住促進

佐賀市は、本市への定住促進を図るため、ホームページやSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)、情報誌等を活用した定住情報の発信に取り組んでいます。その取り組みのひとつとして、首都圏と本市との間を、平成23年11月15日から平成25年3月31日まで、定住広告「さがぐらしはじめませんか」をデザインした定住広告を貼り付けたラッピングトラックを走らせています。

首都圏にお住まいの佐賀市(佐賀県)出身の方に、このトラックを見てもらうことで、ふるさと「佐賀」を思いだしていただきたいですし、大都市東京から地方都市へ移住したいという方に対しても、本市の定住サポートのホームページにアクセスしていただきたいと思っています。



定住広告を貼り付けたラッピングトラック
(両側に貼り付けています。)

佐賀と東京を週に1、2回往復しています。

ご寄附の活用状況

6. 市長おまかせコース(指定)

●震災避難者支援

3月11日に発生した東日本大震災では、三陸沿岸地方を中心に甚大な被害をもたらすとともに、そこにお住まいのたくさんの方々の生活を一変させる事態となりました。

佐賀市におきましても、すぐに「東日本大震災対策室」を設置し、一人でも多くの被災者の方を受け入れられる体制づくりを進めました。佐賀県とも連携しながら市営住宅や日用品などの提供を行う一方で、市民の方々からも空き家・アパートの無償貸与の申し出など、多くの支援をいただきました。

そのような中、8月には、避難者の方々の支援に使ってもらいたいと寄附をいただき、避難者の方々のご意見をお伺いしながら検討をさせていただいた結果、「佐賀市プレミアム付商品券」を購入し、佐賀市に避難されている全世帯へ配布させていただくことにしました。

これは、佐賀商工会議所を中心を実施されたもので、額面11,000円を10,100円で販売し、そのうち100円は義援金に充てられるというものです。日用品から食料品まで市内様々な店舗で使用ができることから、避難者の方々に大変喜ばれ、たくさんの感謝の声をいただいております。



市役所2階に設けられた
「東日本大震災対策室」



佐賀市プレミアム付商品券チラシ

●鷹の羽記念植樹等記念関連事業

関東富士町会ヤマザクラ植樹記念式典及び歓迎レセプションに使って欲しいと寄附をいただきました。嘉瀬川ダムの完成を記念して、地元住民はもとより、多くの皆様の憩いの場、休息の場の創出として「みはらしの丘鷹の羽公園」を整備いたしました。

関東富士町会里帰りツアーに合わせ、寄贈いただいた100万円分のヤマザクラを同公園に植樹していただきました。

今回の寄附金は、関東富士町会里帰りツアーの経費として有効に使わせていただきました。



「関東富士町会ヤマザクラ記念植樹」
みはらしの丘鷹の羽公園

ふるさと応援寄附金 H24年度の使いみちについてご報告

平成23年1月～平成23年12月までに、3,428千円もの寄附金を頂きました（平成23年度中に活用させて頂いた520千円は除く）。

このうち、1,888千円について、下表のとおり平成24年度実施事業において予算化しております。

なお、「市長おまかせコース」を選択されて使途指定がなかったものについては（1）から（5）の寄附メニューに振り分けて、使途指定をいただいたものについてはご指定内容をもとに活用させていただいております。

具体的な活用内容については、当該期間に寄附いただいた方へ来年お届けする予定のvol.4にてご報告させていただきます。

メニュー項目	H23.1～H23.12 寄附金合計	H24年度事業 活用額（予算）	備考
（1）晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」	72,000円	161,000円	
（2）市立図書館での生涯学習のお手伝い （図書の実施）	20,000円	109,000円	
（3）多布施川のサクラ並木の保全	106,000円	195,000円	
（4）さあ！大人の出番です。 「こどもへのまなざし運動」	102,000円	191,000円	
（5）魅力ある地域文化保存継承への支援	15,000円	104,000円	
（6）市長おまかせコース（指定なし）	445,000円	—	（1）から（5） へ振り分け
市長おまかせコース （指定：大隈記念事業）	250,000円	0円	積立てを行い、後 年度に活用
市長おまかせコース （指定：川副桜ロードの維持管理）	1,330,000円	790,000円	多額の寄附により、 数年に分けて活用
市長おまかせコース （指定：定住促進）	88,000円	88,000円	
市長おまかせコース （指定：図書館富士館指定）	1,000,000円	250,000円	多額の寄附により、 数年に分けて活用
合 計	3,428,000円	1,888,000円	

佐賀市の概要

市の木	佐賀市のプロフィール	
未制定	本市は、平成17年10月1日に佐賀市、諸富町、大和町、富士町及び三瀬村が合併して誕生しました。さらに平成19年10月1日には、川副町、東与賀町及び久保田町と合併して、今日に至っています。脊振山系の山ろく部の山林や清流、佐賀平野に広がるクリークや田園風景、豊饒の海といわれる“有明海”など素晴らしい環境に恵まれています。特に観光面においては、山間部にある観光りんご園、温泉、スキー場、また沿岸部における干潟の個性的な動植物など、多様な魅力を備えるまちとなりました。	
市の花		
未制定		
友好都市	蓮雲港市（中国）	
姉妹都市	グレンズフォールズ市等（アメリカ）、釜山広域市蓮堤区（韓国）、クサック村（フランス）、リメイラ市（ブラジル）	
祭・イベント	佐賀城下ひなまつり（2～3月）、佐賀城下骨董市（3・11月）、夏の夜のメルヘン（7月）、みつせ高原キャンペーン（7～11月）、川上峡花火大会（7月）、佐賀城下栄の国まつり（8月）、古湯映画祭（9月）、白鬚神社の田楽（10月）、香椎神社の面浮立（10月）、シチメンソウまつり（11月）、サガ・ライトファンタジー（11～1月）、インターナショナルバルーンフェスタ（11月）	オススメ情報（写真、コメント）  アジア最大の国際大会！ 11月には、世界各国から100機を超えるバルーンが集まる国際熱気球大会が開催されます。 朝夕の競技をはじめ、幻想的な夜間係留や多様なイベントなど、子どもから大人までみんなが楽しめる大会です。
		オススメ情報（写真、コメント）  ぬる湯でぽっかぽか 古湯・熊の川温泉の泉温は38度前後。少しぬるめのお湯はリラックス効果があり、快適に長湯ができます。 他にも、三瀬や川上峡など様々な温泉を楽しむことができます。
名所・旧跡	佐賀城本丸歴史館、大隈重信旧宅、大隈記念館、葉隠発祥の地、徐福長寿館、歴史民俗館、徴古館、街なかのえびす像、巨石パーク、肥前国庁跡、石井樋公園、川上峡、嘉瀬川ダム、天山スキー場、浮立の里展示館、やまびこ交流館、佐野常民記念館、筑後川昇開橋、シチメンソウ群生地、思斎館跡	オススメ情報（写真、コメント）  佐賀のご当地グルメ 昭和50年頃に喫茶店で誕生したシシリアンライス。ライスに炒めた肉と生野菜を盛り、マヨネーズをかけるのが基本形。今ではお店によって姿も味も千差万別なので、食べ比べもお奨めです。
名産・特産品 グルメ	丸ぼうろ、シシリアンライス、白玉まんじゅう、三瀬のそば街道、エツ料理、佐賀海苔、アスパラガス、なす、米、大豆、メロン、ほうれん草、みかん、干し柿、イチゴ、佐賀錦、鍋島緞通、肥前びーどろ、諸富家具・建具、名尾手漉和紙	

発行：総合政策課（0952-40-7025）
寄附受付：秘書課（0952-40-7020）